

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土合中】

## 学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)多様な背景や個性をもつ人々に対する理解力の向上 (2)課題を設定し、根拠をもって思考・判断・表現する資質・能力の向上
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)多様性理解をテーマとした人権感覚を育てる教科横断的な授業を実践し、それを教員が相互に見学することを通じて学校全体で人権への意識を高める【各学期の中で1回以上】 (2)課題提示→個人思考→対話(言語活動)→再構築→表現などの対話的アプローチを活用した協働的な問題解決学習の基礎となる学習課題を提示する。【各単元末】

⑤	年度末評価
学力向上策の 実施状況	評価(※) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
↓	
今年度の成果と 次年度の課題	さいたま市学習状況調査(学力) <小3～中3>(1月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	調査の振り返り(4月) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	学力向上策の実施 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

調査結果分析(7～8月)  
①結果分析(管理職・学年主任等)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	学力向上策の充実 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業
結果から考えられる 児童生徒の実態	

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 夏季職員研修等
↓	
学力向上策の 見直し	中間評価(9月) 課題・策の見直し

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)